

令和7年度 秦野総合高等学校 第1回学校運営協議会 HP用

令和7年6月5日(木) 18:00～19:00 会議室

司会：教頭

出席 学校運営協議委員5名、校長、副校長、教頭(全)、教頭(定)、事務長、
全日総括教諭3名、定時総括教諭2名

欠席 学校運営協議委員3名、全日総括教諭2名

次第

1 委嘱状交付

2 開会

3 資料確認

4 学校運営協議会委員、学校職員紹介

- ・自己紹介

5 校長あいさつ

- ・学校評議員会から学校運営協議委員会に移行した経緯がある。コミュニティスクールとして、地域に開かれた学校づくり、いわゆる地域とともに学校を作り、地域を作っていくように、いろいろな目線で運営していくことが大切である。
- ・ここ数年本校は定員割れを起こしている。入学生徒には自分達は選ばれて入学してきたと思わせたい。2000年生まれの人のデータでは、親や塾が高校を決めてしまった、自分で高校を選んでいない生徒に不満が多かった。やりたいものにつながる学校、総合学科だからこそそれが実現できるところを、職員が中学校訪問をしてPRしていきたい。部活動に進路実現をプラスし、やりたいことが学べる学校をアピールしたい。
- ・本校は県より「総合的な探究の時間」の指定校を受けている。課題研究を実施している。昨今の大学入試でも総合学科選抜が実施している。10年先の学校を見据えている。本日は協議のほど、よろしくお願いしたい。

6 議事

(1) 令和6年度 第3回 学校運営協議会報告

- ・資料P3～5の確認。

(2) グループ編成状況について

- ・資料P5, 6の確認。

7 学校評価部会

(1) 令和6年度学校評価報告書(実施結果)について

- ・資料P7～10の確認。

(委員)

- ・部活動加入率の記載があるが、地域等の団体で活動している生徒はいるのか？

(副校長)

- ・一定数の生徒はいるが、多くはない。部活動の加入率を上げていきたい。
文化部の活動も頑張っている。協議会后お時間があれば天文台をご案内したい。

(2) 令和7年度学校評価報告書(目標設定)について

- ・資料P11～14の学校目標等を各グループリーダーによる概要説明。

[全日制]

1 教育課程・学習指導

(学習学事G)

- ・新教育課程が全学年そろって本年度が2年目であるので、昨年度より目標を大きく変更していない。事故のない成績処理と、科目選択が進路に密着しているので慎重に対応していきたい。

(委員)

- ・②の生徒の進路希望に応じた適切な科目選択は大切なことである。ぜひ充実させてほしい。

2 生徒指導・支援

(副校長)

- ・①部活動加入率の向上を目指したい。
- ・②教育相談においては、子どもサポートドックの活用を図り、早めにSC,SSWにつないでいき、支援をしていきたい。

(委員)

- ・ケース会議の内容・実施方法は？

(副校長)

- ・5月に教科担当者会議を実施し、全生徒の情報を共有している。ケース会議は生徒ごとに行っている。

(委員)

- ・ケース会議の構成メンバーは？

(副校長)

- ・担当教員とSC,SSWである。

(校長)

- ・県では教育相談コーディネーターが中心で行っている。子どもサポートドックもアンケート形式からon line形式にしたことで、早期の対応ができる。

3 進路指導・支援

(キャリア支援 G)

- ・自己の進路実現が重要である。「総合的な探究の時間」の発表内容も調べ学習で終わっているのが現状である。教員研修を実施し、それを生徒に還元していくことが必要である。他校も参考にして取り組んでいきたい。

(委員)

- ・鶴見総合高校が隣接している東部総合職業技術校の状況は聞いている。自分事として興味を持っている生徒がいれば協力していきたい。

(委員)

- ・大学生の就職活動は早く動いているが、高校の1人1社の縛りが強いと感じる。

(総括)

- ・現実問題として2社以上の出願の場合教員の労力が大きくなり対応できない。
現在本校では夏に3社の会社見学を実施している。その手配や出願準備に多くの時間を割いている。

4 地域等との協働

(副校長)

- ・現在小学校から「よさこい」の指導依頼が来ている。また、部活動内でも多くのボランティア活動が行われている。

(委員)

- ・年度当初、街づくりの話し合いの場に高校生が参加して、駅近くに高校生が集う場が欲しいという意見があった。このような意見が出せる雰囲気作りが大切であると考ええる。

(校長)

- ・コミュニティスクールのように、地域課題を見せることが大切で、その問題解決のために学ぶことが重要である。

5 学校管理・学校運営

(副校長)

- ・①魅力の発信においては、説明会・HP・中学校訪問の他に、中学校での説明会にも積極的に参加している。

(総括)

- ・②安心・安全な環境づくりの一環として、有事に備えた防災訓練等を計画的に行っている。

(副校長)

- ・③オフィス改善がR8年度に行われる。今年度は計画づくりの年である。

(委員)

- ・生徒が地域に出ている。ボランティア活動を含めていろいろと実施してほしい。

[定時制]

(学習指導、進路指導、学校管理 G)

1 教育課程・学習指導

- ・本年度最後の1年生が入学した。学び直しの生徒が多い。
- ・本年度は、西部総合職業技術校に2名が参加している。

3 進路指導・支援

- ・「産業社会と人間」等で、外部機関と連携した講座やガイダンスを実施する。

5 学校管理・学校運営

- ・職員の適切な業務分担より不祥事防止に努める。

(委員)

- ・集団生活や朝が苦手な地域生徒を、手厚く面倒を見てもらっている。定時制の募集停止については、中学校では今後が心配であると考えている。

(生徒指導、生徒支援 G)

2 生徒指導・支援

- ・SSWが全校30名の生徒全員と面談を実施している。

4 地域等との協働

- ・地域貢献デー等を通じて外部とつながっていききたい。

(委員)

- ・地域との協働は大切なことである。

8 年間計画について

- ・資料P15～18の確認。

(副校長)

- ・文化祭を9月より10月に変更した。第2回学校運営協議会は10月4日になっている。

9 その他

(副校長)

- ・配布資料等の不明な点があれば問合わせてほしい。

10 閉会